

消化器外科

I. スタッフ紹介

『消化器センター外科』

役職： 副院長、消化器外科主任部長

氏名： **寺嶋宏明** 「専門領域：肝胆膵外科」

資格： 京都大学医学博士、日本外科学会 指導医・専門医、日本消化器外科学会 指導医・専門医・消化器がん治療認定医、日本肝胆膵外科学会 高度技能指導医・評議員、近畿外科学会 評議員

役職： 消化器外科部長（2022 年 4 月 1 日入職）

氏名： **田浦康二朗** 「専門領域：肝胆膵外科、移植外科」

資格： 京都大学医学博士、日本外科学会 指導医・専門医、日本消化器外科学会 指導医・専門医・消化器がん治療認定医、日本肝胆膵外科学会 高度技能専門医・評議員、日本肝臓学会 専門医、日本胆道学会 指導医、日本移植学会 認定医、近畿外科学会 評議員

役職： 消化器外科副部長

氏名： **福田明輝** 「専門領域：消化管外科（大腸外科）、内視鏡外科、癌化学療法、腹部救急外科」

資格： 日本外科学会 専門医、日本消化器外科学会 専門医・消化器がん治療認定医、日本内視鏡外科学会 技術認定医（大腸）、日本がん治療認定医機構 がん治療認定医、日本救急医学会 専門医、近畿外科学会 評議員

役職： 消化器外科副部長

氏名： **田中英治** 「専門領域：消化管外科（食道外科・胃外科）、内視鏡外科、ヘルニア外科」

資格： 京都大学医学博士、日本外科学会 指導医・専門医、日本消化器外科学会 指導医・専門医、日本内視鏡外科学会 技術認定医（食道）、日本食道学会 食道科認定医・食道外科専門医・評議員、近畿外科学会 評議員

役職： 消化器外科副部長（2022 年 9 月 30 日退職）

氏名： **上村良** 「専門領域：肝胆膵外科、消化管外科（大腸外科）、内視鏡外科」

資格： 京都大学医学博士、日本外科学会 専門医、日本消化器外科学会 専門医、日本肝胆膵外科学会 高度技能専門医・評議員、近畿外科学会 評議員

役職： 消化器外科副部長（2023 年 1 月 1 日昇格）

氏名： **井口公太** 「専門領域：肝胆膵外科、消化管外科（大腸外科）、内視鏡外科」

資格： 京都大学医学博士、日本外科学会 専門医、日本消化器外科学会 指導医・専門医、日本肝胆膵外科学会 評議員、日本肝臓学会 専門医、日本がん治療認定医機構 認定医、近畿外科学会 評議員

役職： 消化器外科医員

氏名： **奥知慶久** 「専門領域：消化管外科、内視鏡外科」

資格： 京都大学医学博士、日本外科学会 専門医、日本消化器外科学会 専門医・消化器がん治療認定医

役職： 消化器外科医員

氏名： **河合隆之** 「専門領域：肝胆膵外科、内視鏡外科、ヘルニア外科」

資格： 京都大学医学博士、日本外科学会 専門医、日本消化器外科学会 指導医・専門医・消化器がん治療認定医、日本肝臓学会 専門医、日本移植学会 移植認定医、日本がん治療認定医機構 認定医、日本再生医療学会 認定医

役職： 消化器外科医員（2022 年 10 月 1 日入職）

氏名： **仲野健三** 「専門領域：肝胆膵外科、消化器外科」

資格： 京都大学医学博士、日本外科学会 専門医、日本消化器外科学会 専門医・消化器がん治療認定医

役職： 消化器外科医員

氏名： **山本健人** 「専門領域：消化管外科、内視鏡外科」

資格： 京都大学医学博士、日本外科学会 専門医、日本消化器外科学会 指導医・専門医・消化器がん治療認定医、日本感染症学会 専門医、日本がん治療認定医機構 認定医、ICD 制度協議会 感染管理医師 (ICD)

役職： 消化器外科医員

氏名： **久野晃路** 「専門領域：消化器外科」

資格： 日本外科学会 専門医

役職： 消化器外科専攻医 (2023 年 3 月 31 日退職)

氏名： **西川裕太** 「専門領域：消化器外科」

役職： 消化器外科専攻医 (2022 年 7 月 1 日入職、同年 12 月 31 日退職)

氏名： **岩井祐人** 「専門領域：消化器外科」

役職： 消化器外科専攻医 (2022 年 4 月 1 日入職)

氏名： **大下恵樹** 「専門領域：消化器外科」

II. 診療・治療の特徴

☆ 消化器センター消化器外科の特色

医学研究所が設立母体である当院は、科学的根拠に基づき、患者さんにとって最適かつ最良の治療方法を見つけだし、その治療にあたることを理念とし医療を行っている。消化器癌治療においては、各種の癌診療ガイドラインに記載された標準治療をベースにしながら、最新の研究成果・知見を活かして、より治療効果の高い集学的治療を実践している。

手術手技については、ロボット支援手術を含めた内視鏡外科の導入率を経年的に増加させている。消化器手術（局麻の CV port 関連手術除く）における腹腔鏡手術施行率は、以下の通り経時的に増加しており、2022 年は 80% 近くまで増加した（2014 年=42.1%、2017 年=59.8%、2020 年=65.4%、2021 年=69.8%、2022 年=79.5%）。また再発癌（直腸癌、大腸癌肝転移）や切除不能癌（大腸癌肝転移、膵癌、胆道癌）に対しても、化学療法/化学放射線療法を併用しながら、積極的に切除可能性を追求している。

年間の全手術数は 730～770 件（2022 年度は covid-19 蔓延による診療制限の影響から少し回復し、前年度 670 件から 718 件に増加）、全身麻酔手術件数が 570～640 件（2022 年度は前年度 581 件から 618 件に増加）である。

食道癌

年間手術症例は 5～10 例。外科切除適応症例に対しては、低侵襲手術である胸腔鏡（VATS）+腹腔鏡（pure-Lap）手術の完全内視鏡手術を標準術式としている。進行食道癌に対しては術前化学療法/術後補助化学療法を導入し、治療成績向上を目指している。新規患者については、食道外科医/消化器内科医（消化管）/放射線科医/腫瘍内科医からなる「食道癌ユニット」で治療方針を検討している。

胃癌

年間手術症例は 30 例～40 例。完全腹腔鏡下胃切除（幽門側胃切除/噴門側胃切除/胃全摘）が標準術式であるが、2020 年以降は daVinci によるロボット支援胃切除実施率が急速に増加している（腹腔鏡下胃切

除におけるロボット支援胃切除の割合：9/27=33.3%（2022年度））。高度進行胃癌（高度リンパ節転移例、スキルス胃癌など）に対しては、診断的腹腔鏡で腹膜播種や肝転移の有無など病期を正確に評価した上で、術前化学療法を導入して外科的切除を施行している。また、腹膜播種症例においては腹腔内化学療法を組み合わせた集学的治療（切除も考慮）で治療成績向上を目指している。

大腸癌

年間手術症例は120～150例。手術適応症例に対しては腹腔鏡下大腸切除術を原則としている（全大腸切除術（非癌も含む）における腹腔鏡手術施行率：113/132=85.6%（2022年度））。高度進行直腸癌に対しては術前化学療法/化学放射線療法を導入し、腫瘍学的に根治性を損なわない肛門温存・自律神経温存手術を可能な限り目指している。また、症例選択/患者ニーズに応じて、ロボット支援直腸手術（2021年度：21例→2022年度：27例）を実施している。

大腸癌の大きな予後規定因子である肝転移に対しては積極的な肝切除を行っており、切除不能肝転移症例に対しても、全身化学療法により肝転移巣を縮小させた後に、原発巣と肝転移巣を切除する、“conversion surgery”を導入している。一方で、肝転移症例は肝切除後も高頻度に再発（肝、肺など）を認めるが、外科的切除（再肝切除/再々肝切除や肺切除/再肺切除）を積極的に組み入れて、治療成績向上を目指している。

肝癌（肝細胞癌/肝内胆管癌/転移性肝癌）

年間手術症例は30～40例。肝細胞癌は、腫瘍因子（個数、位置、局在）と肝機能の総合的評価により治療法が選択・決定される。当科では、肝機能が良好（肝障害AまたはB）で単発または2-3個までであれば、積極的に切除を行っている。近年、ウィルス非関連性の肝障害（NASH/NAFLDなど）からの発癌が増加しており、いわゆる生活習慣病フォロー中に診断される症例も多く見られ、切除適応症例の半分以上がこのような非B非C肝癌となっている。

肝細胞癌は何らかの慢性肝障害をベースに有するために、再発率も高い。消化器内科との協力のもと、厳重な術後フォローアップを行っており、早期に再発を診断した上で、経肝動脈塞栓術（TACE）や経皮的ラジオ波焼灼術（RFA）などの治療を実践している。また、症例によっては積極的に再肝切除（症例によっては腹腔鏡アプローチを導入）を施行している。

一方、大腸癌肝転移については、単発の切除可能症例については肝切除を先行しているが、多発肝転移では化学療法を先行導入し、腫瘍縮小効果を見ながら切除のタイミングを検討している。また切除不能症例においても、化学療法により腫瘍が縮小化し、肉眼的遺残のない切除が可能と判断すれば、切除の対象としている。肝切除後の再発症例でも、再肝切除や再々肝切除を積極的に行い（可能であれば腹腔鏡アプローチで）、長期予後改善を目指している。

膵胆道癌

年間手術症例は30～40例。膵癌については、画像診断（MDCT, MRI, FDG-PET）や内視鏡的診断（EUS, EUS-FNA, ERCP）の進歩により1cm以下のT1a/T1b症例のみならず、Tis症例（早期膵癌）の診断も可能となった。

（1）切除可能膵癌については、Tis/T1aはupfront surgeryとし、T1b以上は術前化学療法後に神経叢温存下でのD2リンパ節郭清を伴う膵切除を原則としている。術前化学療法のレジメンは、T1b～T2にはGEM+S1を、T3以上やリンパ節転移陽性症例にはGEM+ nab-PTX、と使い分けている。（2）切除可能境界膵癌については化学療法（GEM+ nab-PTX）を先行させ（少なくとも3～4kur）、腫瘍マーカーの正常化、または画像診断上Resectableと判断されれば切除を行っている。上記基準を満たさない場合は、①化学療法の2nd line（mFOLFIRINOX）、または②CRT（S1+RT）に治療変更する。（3）切除不能局所進行膵癌に対しては、化学療法（GEM+nab-PTX or mFOLFIRINOX）を少なくとも6～8ヶ月行い、腫瘍マーカーの正常化または再上昇無しの状態で、かつ画像診断上（特にPETでの集積陰影の縮小化が重要）切除適応と評価すれば、conversion surgeryを行っている。術後再発時の化学療法（mFOLFIRINOXやGEM+nab-

PTX) の治療成績向上もふまえ、当院における浸潤性膵管癌切除例の最新の治療成績は、1 生 87.5%、3 生 60.7%、5 生 41.3%となっている。なお、膵体尾部癌については、腹腔鏡下手術を原則としており、現在ロボット支援手術導入に向けて準備中である。

胆管癌については、血管浸潤例を含めて外科的切除を原則としており、中・下部胆管癌には亜全胃温存膵頭十二指腸切除、肝門部・上部胆管癌には肝葉切除+胆道再建を基本術式としている。広範囲進展型胆管癌では、術前門脈塞栓後に肝膵同時切除 (HPD) を施行する。また、門脈合併切除再建のみならず肝動脈切除再建にも積極的に取り組んでいる。

胆嚢癌については、壁深達度に応じて、m 癌は単純胆摘、mp 癌は胆摘+リンパ節郭清、ss 癌は肝床切除+リンパ節郭清 (+胆道再建)、se 癌以上では肝切除 (S4a+S5 切除または右肝切除) +胆道再建+リンパ節郭清、を基本術式としている。

胆道癌で葉切除以上の肝切除が必要でかつ残肝容量が少ない場合には、術前門脈塞栓術を行い、残肝肥大を得た上での安全な手術を実施している。

その他

胆石症は年間 130~150 例 (腹腔鏡下胆摘は 120~130 例)、ヘルニアは年間 80~100 例であり、腹壁癭痕ヘルニアや鼠径ヘルニアに対する腹腔鏡下手術の導入率は年々増加している (2019 年度=49%、2020 年度=59%、2021 年度=79%、2022 年度=74%)。

医療設備： MRI、MDCT、造影超音波診断装置、血管造影装置、RFA (ラジオ波焼灼装置)、超音波外科吸引装置 (CUSA)、VIO、Vincent 3D 画像解析システム、da Vinci ロボット支援外科手術システム、内視鏡手術システム、Medical Imaging Projection System

Ⅲ. 学会・講演・著作その他の研究活動

【学会】

- 1 奥知慶久、田中英治、大下恵樹、西川裕太、久野晃路、山本健人、河合隆之、井口公太、上村良、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 ビデオによる手術手技供覧～腹腔鏡下幽門側胃切除術 D1+ 第 31 回京都臨床外科セミナー 2022/04/09 (京都)
- 2 上村良、河合隆之、井口公太、奥田雄紀浩、寺嶋宏明 当院における切除可能膵癌における早期再発の術前危険因子の検討 第 122 回日本外科学会定期学術集会 2022/4/14~4/16 (hybrid Web(熊本))
- 3 田中英治、西川裕太、久野晃路、山本健人、河合隆之、奥知慶久、井口公太、奥田雄紀浩、上村良、福田明輝、寺嶋宏明 剥離層の幅を意識した膵上縁 D2 リンパ節郭清—ロボット支援下手術は有用である。— 第 122 回日本外科学会定期学術集会 2022/4/14~4/16 (hybrid Web(熊本))
- 4 山本健人、河田健二、松末亮、山口高史、奥知慶久、福田明輝、田中英治、上田修吾、寺嶋宏明、小濱和貴 直腸癌の予後予測に有用な炎症性バイオマーカーに関する多施設共同後向き研究 第 122 回日本外科学会定期学術集会 2022/4/14~4/16 (hybrid Web(熊本))
- 5 奥知慶久、田中英治、西川裕太、久野晃路、山本健人、河合隆之、井口公太、奥田雄紀浩、上村良、福田明輝、上田修吾、寺嶋宏明 切除可能進行胃癌に対する術前化学療法施行後胃切除の安全性評価 第 122 回日本外科学会定期学術集会 2022/4/14~4/16 (hybrid Web(熊本))
- 6 田浦康二郎、小木曾 聡、穴澤 貴行、小川 絵里、岡本 竜弥、福光 剣、石井 隆道、伊藤 孝司、加茂 直子、瀬尾 智、秦 浩一郎、増井 俊彦、波多野 悦朗 癌に対する肝移植の現状と展望:再発肝癌に対する再肝切除とサルベージ生体肝移植【International】胆道悪性腫瘍に対する生体肝移植 我々の施設の取り組み 第 122 回日本外科学会定期学術集会 2022/4/14~4/16 (hybrid Web(熊本))
- 7 河合隆之、井口公太、奥田雄紀浩、上村良、寺嶋宏明 腹腔鏡下肝切除のコンセプトに基づいた、開腹肝切除における肝静脈周囲手術手技 第 58 回日本肝癌研究会 2022/5/12~5/13 (東京)
- 8 田浦康二郎、内田洋一郎、伊藤孝司、奥村晋也、楊知明、藤浩明、加藤琢也、政野裕紀、福光

- 剣、小木曾聡、穴澤貴行、瀬尾智、秦浩一郎、増井俊彦、三谷洋介、清水大功、福田晃久、松尾幸憲、南口早智子、波多野悦朗 局所進行肝門部領域胆管癌に対する生体肝移植 第 58 回日本肝癌研究会 2022/5/12～5/13 (東京)
- 9 山本健人、福田明輝、久野晃路、河合隆之、奥知慶久、井口公太、奥田雄紀浩、上村良、田中英治、寺嶋宏明 脾彎曲部結腸癌に対する頭側アプローチによる腹腔鏡下手術手技 第 76 回手術手技研究会 2022/5/19～5/20 (佐賀)
- 10 山本健人、内田洋一郎 消化器疾患における末梢挿入型中心静脈カテーテル(PICC)の安全性に関する検討 第 37 回日本臨床栄養代謝学会学術集会 2022/5/31～6/1 (横浜)
- 11 京面ももこ 巽絢子 井口公太 膵切除術式から見た術後栄養状態の回復差異についての検討 第 37 回日本臨床栄養代謝学会学術集会 2022/5/31～6/1 (横浜)
- 12 巽絢子 京面ももこ 井口公太 膵切除術式から見た術後体組成・握力・身体機能変化に関する検討 第 37 回日本臨床栄養代謝学会学術集会 2022/5/31～6/1 (横浜)
- 13 Hiroaki Terajima, Takayuki Kawai, Kohta Iguchi, Yukihiro Okuda, Ryo Kamimura The first experience of real-time navigation hepatectomy by using the Medical Imaging Projection System (MIPS) 第 34 回日本肝胆膵外科学会学術集会 2022/6/9～6/10 (松山)
- 14 Kohta Iguchi, Takayuki Kawai, Yukihiro Okuda, Ryo Kamimura, Yoichiro Uchida, Hiroaki Terajima How should we treat locally-advanced gallbladder carcinosarcoma? 第 34 回日本肝胆膵外科学会学術集会 2022/6/9～6/10 (松山)
- 15 Takayuki Kawai, Takamichi Ishii, Yoichiro Uchida, Asahi Sato, Shigetoshi Naito, Kazuhiko Kitaguchi, Takashi Komatsubra, Kohta Iguchi, Yukihiro Okuda, Ryo Kamimura, Ikuo Nakamura, Satoshi Ogiso, Ken Fukumitsu, Satoru Seo, Takahisa Fujikawa, Kentaro Yasuchika, Tetsuro Hirose, Masazumi Zaima, Kojiro Taura, Etsuro Hatano, Hiroaki Terajima Impact of anatomical liver resection on patent survival in KRAS-wild type colorectal liver metastasis: A multicenter retrospective study 第 34 回日本肝胆膵外科学会学術集会 2022/6/9～6/10 (松山)
- 16 Ryo Kamimura, Takayuki Kawai, Kota Iguchi, Yukihiro Okuda, Hiroaki Terajima Short-term and Long-term outcomes of patients with pT1 and ypT1 pancreatic ductal adenocarcinoma in our hospital 第 34 回日本肝胆膵外科学会学術集会 2022/6/9～6/10 (松山)
- 17 Kojiro Taura, Kenta Makino, Takamichi Ishii, Siyuan Yao, Takahiro Nishio, Yukinori Koyama, Satoshi Ogiso, Tatsuya Okamoto, Ken Fukumitsu, Satoru Seo, Koichiro Hata, Toshihiko Masui, Etsuro Hatano Perioperative management for perihilar cholangiocarcinoma ; our bundled approach 第 34 回日本肝胆膵外科学会学術集会 2022/6/9～6/10 (松山)
- 18 Takayuki Kawai, Takamichi Ishii, Yoichiro Uchida, Asahi Sato, Shigetoshi Naito, Kazuhiko Kitaguchi, Takashi Komatsubra, Kohta Iguchi, Yukihiro Okuda, Ryo Kamimura, Ikuo Nakamura, Satoshi Ogiso, Ken Fukumitsu, Satoru Seo, Takahisa Fujikawa, Kentaro Yasuchika, Tetsuro Hirose, Masazumi Zaima, Kojiro Taura, Etsuro Hatano, Hiroaki Terajima Impact of anatomical liver resection on patent survival in KRAS-wild type colorectal liver metastasis: A multicenter retrospective study 第 34 回日本肝胆膵外科学会学術集会 2022/6/9～6/10 (松山)
- 19 田浦康二郎、日下部治郎、奥田雄紀浩、寺嶋宏明、波多野悦朗 All-in-one 3D イメージの勧め ～重ね合わせて初めて見えてくることがある～ 第 47 回日本外科系連合学会学術集会 2022/6/15～6/17 (盛岡)
- 20 Takehito Yamamoto, Makoto Taketo, Shoichi Kitano Efficacy evaluation of an FGFR inhibitor, a novel targeted drug, using patient-derived cancer stem cell spheroids for colorectal cancer patients Asian Oncology Society 2022 2022/6/16～6/18 (hybrid Web(Seoul, 韓国))

- 2 1 山本健人、北野翔一、武藤誠 大腸癌患者由来の癌幹細胞スフェロイドを用いた FGFR 阻害薬感受性スクリーニング 第 26 回日本がん分子標的治療学会 2022/6/29～7/1 (金沢)
- 2 2 田中英治、久野晃路、山本健人、河合隆之、奥知慶久、井口公太、上村良、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 進行胃癌に対するロボット支援下手術の安全性 有用性に関する検討 第 44 回日本癌局所療法研究会 2022/07/01 (豊中)
- 2 3 上村良、久野晃路、山本健人、河合隆之、奥知慶久、井口公太、奥田雄紀浩、田中英治、福田明輝、寺嶋宏明 肝内胆管癌術後異時性肝転移に対して化学療法後に腹腔鏡下肝部分切除術を施行した 1 例 第 44 回日本癌局所療法研究会 2022/07/01 (大阪)
- 2 4 山本健人、奥知慶久、福田明輝、久野晃路、河合隆之、井口公太、奥田雄紀浩、上村良、田中英治、寺嶋宏明 一般市中病院におけるロボット支援下直腸癌手術の導入と短期成績 第 44 回日本癌局所療法研究会 2022/07/01 (大阪)
- 2 5 山本健人、内田洋一朗 消化器外科患者における末梢挿入型中心静脈カテーテル挿入症例 205 例の後方視的検討 日本外科代謝栄養学会第 59 回学術集会 2022/7/1～7/3 (hybrid Web(筑波))
- 2 6 山本健人、福田明輝 脾弯部結腸癌に対する Cranial-first approach Lilly CRC Web Conference 2022/07/12 (hybrid Web(大阪))
- 2 7 篠原有紀子 奥知慶久 大下恵樹 西川裕太 久野晃路 山本健人 河合隆之 井口公太 上村良 田中英治 福田明輝 田浦康二郎 寺嶋宏明 重症急性膵炎加療中に生じた多発盲腸穿孔の一例 第 643 回大阪外科集談会 2022/07/16 (大阪)
- 2 8 田浦康二郎、上本裕介、小木曾聡、穴澤貴行、福光剣、伊藤孝司、瀬尾智、秦浩一郎、竹田治彦、高井淳、山田洋介、羽賀博典、波多野悦朗 肝細胞癌に対する脳死肝移植後、グラフト肝 de novo 肝内胆管癌を発症した 1 例 第 40 回日本肝移植学会学術集会 2022/7/8～7/9 (東京)
- 2 9 井口公太 巽絢子 京面ももこ 河合隆之 奥田雄紀浩 上村良 田中英治 寺嶋宏明 膵切除後栄養学的指標の経時的推移 ～術後半年間の観察から～ 第 77 回日本消化器外科学会総会 2022/7/20～7/22 (hybrid Web(横浜))
- 3 0 奥知慶久、田中英治、久野晃路、山本健人、河合隆之、井口公太、奥田雄紀浩、上村良、福田明輝、寺嶋宏明 胃癌手術における左副肝動脈を温存した左胃動脈周囲リンパ節郭清手技の定型化 第 77 回日本消化器外科学会総会 2022/7/20～7/22 (hybrid Web(横浜))
- 3 1 河合隆之、奥田雄紀浩、久野晃路、山本健人、奥知慶久、井口公太、上村良、田中英治、福田明輝、寺嶋宏明 腹腔鏡下膵体尾部切除における当院の膵切離法に関する後方視的検討 第 77 回日本消化器外科学会総会 2022/7/20～7/22 (hybrid Web(横浜))
- 3 2 田中英治、奥知慶久、久野晃路、山本健人、河合隆之、井口公太、奥田雄紀浩、上村良、福田明輝、寺嶋宏明 ランドマークを意識した腹腔鏡下経裂孔的下縦隔郭清術 第 77 回日本消化器外科学会総会 2022/7/20～7/22 (hybrid Web(横浜))
- 3 3 山本健人、福田明輝、西川裕太、久野晃路、河合隆之、奥知慶久、井口公太、上村良、田中英治、田浦康二郎、寺嶋宏明 脾彎曲部結腸癌に対する頭側アプローチによる腹腔鏡手術の有用性 第 77 回日本消化器外科学会総会 2022/7/20～7/22 (hybrid Web(横浜))
- 3 4 田浦康二郎、小木曾聡、穴澤貴行、岡本竜弥、小川絵里、福光剣、瀬尾智、秦浩一郎、増井俊彦、波多野悦朗 切除不能胆管癌に対する生体肝移植の初期経験 第 77 回日本消化器外科学会総会 2022/7/20～7/22 (hybrid Web(横浜))
- 3 5 大下恵樹、奥知慶久、西川裕太、久野晃路、山本健人、河合隆之、井口公太、上村良、田中英治、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 SLE 加療中に発症した CMV 腸炎による多発大腸穿孔の一例 第 11 回大阪スペシャルミックス外科講演会 2022/07/29 (hybrid Web(大阪))
- 3 6 河合隆之、井口公太、上村良、田浦康二郎、寺嶋宏明 巨大な膵体尾部腫瘍に対する腹腔鏡下膵体尾部切除はどこまで可能か 第 49 回日本膵切研究会 2022/8/19～8/20 (大津)
- 3 7 上村良、河合隆之、井口公太、田浦康二郎、寺嶋宏明 膵体尾部切除における膵切離法(Clip on Staple 法)と周術期管理の工夫 第 49 回日本膵切研究会 2022/8/19～8/20 (大津)
- 3 8 上村良、河合隆之、井口公太、田浦康二郎、寺嶋宏明 Medical Imaging Projection

- System(MIPS)によるリアルタイムナビゲーションを導入した肝前区域切除の1例 第16回肝癌治療ナビゲーション研究会 2022/09/03 (大阪)
- 3 9 西川裕太 ENGBDによるドレナージを先行し腹腔鏡下胆嚢亜全摘術を施行した1例 第4回若熱会 2022/09/10 (hybrid Web(京都))
- 4 0 寺嶋宏明、河合隆之、井口公太、上村良、田浦康二郎 Medical Imaging Projection System(MIPS)を用いたreal-time navigation hepatectomyを経験して見えてきたもの:MIPSの有用性はどこにあるのか? 日本蛍光ガイド手術研究会 第5回学術集会 2022/9/16~9/17 (東京)
- 4 1 河合隆之、西川裕太、久野晃路、山本健人、奥知慶久、井口公太、上村良、田中英治、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 腹腔鏡下腓体尾部切除術における当院の術野展開の工夫 第35回近畿内視鏡外科研究会 2022/09/17 (西宮)
- 4 2 田中英治、河合隆之、大下恵樹、西川裕太、久野晃路、山本健人、奥知慶久、井口公太、上村良、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 技術認定所得を念頭においた腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術における言語の共通化を基にした手技の定型化 第35回近畿内視鏡外科研究会 2022/09/17 (西宮)
- 4 3 山本健人、福田明輝、大下恵樹、岩井祐人、西川裕太、久野晃路、河合隆之、奥知慶久、上村良、田浦康二郎、寺嶋宏明 ビデオによる手術手技供覧~腹腔鏡下S状結腸切除術 第32回 京都臨床外科セミナー 2022/10/08 (hybrid Web(京都))
- 4 4 田浦康二郎 伊藤孝司 波多野悦朗、穴澤貴行 長井和之 福光剣 内田洋一朗 石井隆道 瀬尾智 秦浩一郎 清水大功 宇座徳光 松尾幸憲 南口早智子 金井雅史 生体肝移植は切除不能肝門部胆管癌に対する最後の砦となり得るか? 第58回日本胆道学会学術集会 2022/10/13~10/14 (横浜)
- 4 5 山本健人、福田明輝、久野晃路、河合隆之、奥知慶久、井口公太、奥田雄紀浩、上村良、田中英治、寺嶋宏明 脾彎曲部結腸癌に対する頭側アプローチによる腹腔鏡下手術の意義と安全性 第77回日本大腸肛門病学会学術集会 2022/10/14~10/15 (幕張)
- 4 6 井口公太 河合隆之 上村良 田浦康二郎 寺嶋宏明 当院における脾全摘術 ~脾温存に焦点を当てて~ 第29回京都肝胆膵外科セミナー 2022/10/15 (hybrid Web(京都))
- 4 7 河合隆之 臨床試験進捗状況報告: SAMURAI-Liver Study 第29回京都肝胆膵外科セミナー 2022/10/15 (hybrid Web(京都))
- 4 8 山本健人、福田明輝、西川裕太、久野晃路、河合隆之、奥知慶久、井口公太、上村良、田中英治、田浦康二郎、寺嶋宏明 直腸癌患者の術後短期および長期成績に影響を与えるリンパ球数/CRP比(LCR)の有用性 第60回日本癌治療学会学術集会 2022/10/27~10/30 (神戸)
- 4 9 山本健人、河田健二、松末亮、山口高史、福田明輝、寺嶋宏明、小濱和貴 進行直腸癌の術後長期成績に影響を与える炎症性バイオマーカーに関する多施設共同後向き研究 第21回日本消化器関連学会週間(JDDW2022) 2022/10/27~10/30 (福岡)
- 5 0 山本健人、河田健二、松末亮、山口高史、奥知慶久、福田明輝、寺嶋宏明、小濱和貴 進行直腸癌の術後長期成績に影響を与える炎症性バイオマーカーに関する多施設共同後向き研究 第21回日本消化器関連学会週間(JDDW2022) 2022/10/27~10/30 (福岡)
- 5 1 河合隆之、久野晃路、井口公太、奥知慶久、奥田雄紀浩、上村良、田中英治、福田明輝、寺嶋宏明 腹腔鏡下肝切除の知見を応用した、開腹肝切除における肝静脈周囲手術手技 第21回日本消化器関連学会週間(JDDW2022) 2022/10/27~10/30 (福岡)
- 5 2 井口公太 河合隆之 奥田雄紀浩 上村良 寺嶋宏明 脾切除後NAFLD患者における腸内細菌叢の検討 第21回日本消化器関連学会週間(JDDW2022) 2022/10/27~10/30 (福岡)
- 5 3 田浦康二郎 小木曾聡 穴澤貴行 小川絵里 岡本竜弥 長井和之 福光剣 内田洋一朗 石井隆道 伊藤孝司 加茂直子 瀬尾智 秦浩一郎 増井俊彦 清水大功 宇座徳光 松尾幸憲 南口早智子 金井雅史 波多野悦朗 切除不能肝門部胆管癌に対する生体肝移植 第21回日本消化器関連学会週間(JDDW2022) 2022/10/27~10/30 (福岡)
- 5 4 山本健人、福田明輝、大下恵樹、西川裕太、久野晃路、河合隆之、奥知慶久、井口公太、上村

- 良、田中英治、田浦康二朗、寺嶋宏明 直腸癌術後の感染性合併症の発生と予後との関連性に関する単施設後向き研究 第35回日本外科感染症学会総会学術集会 2022/11/8～11/9 (倉敷)
- 5 5 赤津希海、井口公太、大下恵樹、西川裕太、久野晃路、山本健人、河合隆之、奥知慶久、上村良、田中英治、福田明輝、田浦康二朗、寺嶋宏明 切除可能浸潤性膵管癌に対して重粒子線治療を含めた術前治療後に根治切除を施行した1例 第645回大阪外科集談会 2022/11/19 (完全Web)
- 5 6 河合隆之、井口公太、上村良、田浦康二朗、寺嶋宏明 当院の腹腔鏡下膵体尾部切除術における術野展開の工夫 第14回膵臓内視鏡外科研究会 2022/11/23 (福岡)
- 5 7 山本健人、福田明輝、西川裕太、久野晃路、河合隆之、奥知慶久、上村良、田浦康二朗、寺嶋宏明 進行直腸癌の予後予測における術前Prognostic Nutritional Index (PNI)の有用性 第84回日本臨床外科学会総会 2022/11/24～11/26 (福岡)
- 5 8 久野晃路、大下恵樹、西川裕太、山本健人、河合隆之、奥知慶久、井口公太、上村良、田中英治、福田明輝、田浦康二朗、寺嶋宏明 腹部手術既往のない大網索状物による絞扼性イレウスに対して腹腔鏡手術を施行した一例 第84回日本臨床外科学会総会 2022/11/24～11/26 (福岡)
- 5 9 田中英治、奥知慶久、大下恵樹、西川裕太、久野晃路、山本健人、河合隆之、井口公太、上村良、福田明輝、田浦康二朗、寺嶋宏明 ロボット支援下膵上縁 D2 リンパ節郭清における「幅」を意識した手術コンセプトと「軸」を意識したデバイス選択 第35回日本内視鏡外科学会総会 2022/12/8～12/10 (名古屋)
- 6 0 山本健人、福田明輝、西川裕太、久野晃路、河合隆之、奥知慶久、上村良、田浦康二朗、寺嶋宏明 右側結腸癌に対する頭側アプローチ先行の手術手技と妥当性に関する検討 第35回日本内視鏡外科学会総会 2022/12/8～12/10 (名古屋)
- 6 1 久野晃路、田中英治、大下恵樹、西川裕太、山本健人、河合隆之、奥知慶久、井口公太、上村良、福田明輝、田浦康二朗、寺嶋宏明 胃切除術におけるアプローチ法・切開創の違いが術後創痛に与える影響 第35回日本内視鏡外科学会総会 2022/12/8～12/10 (名古屋)
- 6 2 福田明輝 大下恵樹 西川裕太 久野晃路 山本健人 河合隆之 奥知慶久 井口公太 上村良 田中英治 田浦康二朗 寺嶋宏明 一般市中病院におけるロボット支援下直腸手術導入の短期成績 第35回日本内視鏡外科学会総会 2022/12/8～12/10 (名古屋)
- 6 3 奥知慶久 田中英治 大下恵樹 西川裕太 久野晃路 山本健人 河合隆之 井口公太 上村良 福田明輝 田浦康二朗 寺嶋宏明 腹腔鏡下胃全摘術における補強材付きステーブラーを用いた食道切離の有用性 第35回日本内視鏡外科学会総会 2022/12/8～12/10 (名古屋)
- 6 4 西川裕太 福田明輝 大下恵樹 久野晃路 山本健人 河合隆之 奥知慶久 井口公太 上村良 田中英治 田浦康二朗 寺嶋宏明 頭側アプローチによる腹腔鏡下右半結腸切除術における surgical trunk のリンパ節郭清 第35回日本内視鏡外科学会総会 2022/12/8～12/10 (名古屋)
- 6 5 仲野健三、中西望、植村泰佑、森野甲子郎、後藤俊彦、加藤滋、門川佳央、待本貴文 Direct Kugel 術後の再発鼠径ヘルニア嵌頓に対し TAPP 法によるヘルニア修復と小腸切除を同時に施行した一例 第35回日本内視鏡外科学会総会 2022/12/8～12/10 (名古屋)
- 6 6 大下恵樹 井口公太 岩井祐人 西川裕太 久野晃路 山本健人 仲野健三 河合隆之 奥知慶久 田中英治 福田明輝 田浦康二朗 寺嶋宏明 当院の肝胆膵手術後における肺塞栓症と D-dimer 測定の意義 令和四年度京都大学外科冬季研究会 2022/12/03 (hybrid Web(京都))
- 6 7 井口公太、仲野健三、河合隆之、田浦康二朗、寺嶋宏明 まれな肝動脈後区域枝の破格を伴う肝嚢胞性腫瘍に対し、Vincent と MIPS を用いて左三区域切除胆道再建を施行した一例 第50回近畿肝臓外科研究会 2023/01/28 (大阪)
- 6 8 Kohta Iguchi, Maiko Okamura, Hiroki Kato, Kengo Yoshii, Takashi Nirasawa, Ryo Kajita, Kojiro Taura, Hiroaki Terajima, Etsuro Hatano, and Masaya Ikegawa MALDI imaging mass spectrometry with shotgun proteomics identify and localize upregulated proteins in the swine NAFLD-related HCC model 第6回京都生体質量分析研究会国際シンポジウム・国際質量分析イメージングシンポジウム 2023 京都 2023/1/30～1/31 (hybrid Web(京都))
- 6 9 Yoshihisa Okuchi, Eiji Tanaka, Yoshiki Oshimo, Yuto Iwai, Yuta Nishikawa, Koji Hisano,

Takehito Yamamoto, Takayuki Kawai, Kota Iguchi, Ryo Kamimura, Meiki Fukuda, Kojiro Taura and Hiroaki Terajima Usefulness of reinforcement stapler during esophagojejunostomy in laparoscopic total gastrectomy 第95回日本胃癌学会 2023/2/23～2/25 (札幌)

- 7 0 田中英治、奥知慶久、大下恵樹、岩井 祐人、西川裕太、久野晃路、山本健人、河合隆之、井口公太、上村良、福田明輝、寺嶋宏明 左副肝動脈温存膈上縁リンパ節郭清における手技の工夫 第95回日本胃癌学会 2023/2/23～2/25 (札幌)
- 7 1 久野晃路、井口公太、大下恵樹、西川裕太、山本健人、仲野健三、河合隆之、奥知慶久、田中英治、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 術前GCS化学療法が著効し、肉眼的根治切除が可能となった局所進行胆嚢癌肉腫の一経験 第647回大阪外科集談会 2023/03/04 (大阪)
- 7 2 西川裕太、久野晃路、山本健人、上村良、福田明輝 急性虫垂炎が原因と考えられた上腸間膜静脈血栓症の1例 第59回日本腹部救急医学会 2023/3/9～3/10 (宜野湾市(沖縄県))
- 7 3 山本健人、大下恵樹、西川裕太、久野晃路、上村良、福田明輝 急性虫垂炎の緊急手術例における術後合併症リスク因子に関する検討 第59回日本腹部救急医学会 2023/3/9～3/10 (宜野湾市(沖縄県))
- 7 4 福田明輝、上村良、奥知慶久、山本健人、久野晃路、西川裕太、大下恵樹 当院における閉塞性大腸癌に対するSEMS留置の手術成績 第59回日本腹部救急医学会 2023/3/9～3/10 (宜野湾市(沖縄県))
- 7 5 久野晃路、大下恵樹、岩井祐人、西川裕太、山本健人、河合隆之、奥知慶久、井口公太、上村良、田中英治、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 COVID-19感染状態を背景とした、サイトメガロウイルス腸炎による回腸多発穿孔に対して緊急手術を施行した一例 第59回日本腹部救急医学会 2023/3/9～3/10 (宜野湾市(沖縄県))
- 7 6 大下恵樹、奥知慶久、西川裕太、久野晃路、山本健人、上村良、福田明輝 SLE加療中に発症したCMV腸炎による多発大腸穿孔の一例 第59回日本腹部救急医学会 2023/3/9～3/10 (宜野湾市(沖縄県))
- 7 7 田浦康二郎、大下恵樹、西川裕太、久野晃路、山本健人、仲野健三、河合隆之、奥知慶久、井口公太、田中英治、福田明輝、寺嶋宏明 胆嚢癌に対する全層胆嚢摘出術～系統的レビュー～ 第114回大阪胆道疾患研究会 2023/03/16 (完全Web)
- 7 8 大下恵樹、井口公太、西川裕太、久野晃路、山本健人、仲野健三、河合隆之、奥知慶久、田中英治、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 肝障害・黄疸を契機に発覚した肝エキノコックス症の一例 第206回近畿外科学会 2023/03/18 (大阪)
- 7 9 河合隆之、小木曾聡、福光剣、石井隆道、波多野悦朗、寺嶋宏明、杉田修啓、氏原嘉洋、中村匡徳 肝細胞癌において、SOX9陽性癌幹細胞はOsteopontinを介した高い転移能を示す 第22回日本再生医療学会総会 2023/3/23～3/25 (京都)
- 8 0 仲野健三、大下恵樹、西川裕太、久野晃路、山本健人、河合隆之、奥知慶久、井口公太、田中英治、福田明輝、田浦康二郎、寺嶋宏明 肝門部浸潤を伴う肝エキノコックス症に対し、肝右葉+S4a切除、門脈・肝外胆管合併切除再建を施行した一例 第30回京都肝胆膵外科セミナー 2023/03/25 (京都)
- 8 1 河合隆之 臨床試験進捗状況報告：SAMURAI-Liver Study 第30回京都肝胆膵外科セミナー 2023/03/25 (京都)

【論文】

(原著論文)

- 1 Yoshida S, …, Tsunoda S*, Tanaka E, … Chronological changes in skeletal muscle mass two years after minimally invasive esophagectomy: A prospective cohort study. *Surg Endosc* 36(2):1527-1535, 2022. (査読有り)
- 2 Okabe H*, …, Tanaka E, … A long-term follow-up study of minimally invasive Ivor

- Lewis esophagectomy with linear stapled anastomosis. *Surg Endosc* 36(3):1979–1988, 2022. (査読有り)
- 3 [Kawasoe J](#), [Uchida Y*](#), [Kawamoto H](#), [Miyauchi T](#), ..., [Saga K](#), [Tanaka K](#), [Ueda S](#), [Terajima H](#), [Taura K](#), ... Propionic acid, induced in gut by an inulin diet, suppresses inflammation and ameliorates liver ischemia and reperfusion injury in mice. *Frontiers in Immunology* 13:1–12, 2022. (査読有り)
 - 4 [Kawai T](#), [Ishii T*](#), [Uchida Y](#), ..., [Terajima H](#). Impact of anatomical liver resection on patient survival in KRAS-wild-type colorectal liver metastasis: A multicenter retrospective study. *Surgery* 172(4):1133–1140, 2022. (査読有り)
 - 5 [Shimoike N](#), [Nishigori T*](#), ..., [Tanaka E](#), ... Safety assessment of robotic gastrectomy and analysis of surgical learning process: a multicenter cohort study. *Gastric Cancer* 25(4):817–826, 2022. (査読有り)
 - 6 [Yamamoto T](#), [Kawada K*](#), ... Identification of patient subgroups with low risk of postoperative local recurrence for whom total mesorectal excision surgery alone is sufficient; a multicenter retrospective analysis. *Int J Colorectal Dis* 37:2207–2218, 2022. (査読有り)
 - 7 [Yamamoto T*](#), ..., [Okuchi Y](#), ..., [Tanaka E](#), [Terajima H](#). Clinical impact of lymphocyte/C-reactive protein ratio on postoperative outcomes in patients with rectal cancer who underwent curative resection. *Sci Rep* 12:17136, 2022. (査読有り)
 - 8 [Murakami K](#), [Obama K*](#), ..., [Tanaka E](#), ... Mesenteric closure after laparoscopic total gastrectomy with Roux-en-Y reconstruction is effective for prevention of internal hernia: a multicenter retrospective study. *Surg Endosc* 36(6):4181–4188, 2022. (査読有り)
 - 9 [Kitano S](#), [Yamamoto T](#), [Taketo M M*](#). Novel parameter for cancer chemosensitivity to fibroblast growth factor receptor inhibitors. *Cancer Sci* 113:4005–4010, 2022. (査読有り)
 - 10 [Kawada K*](#), ..., [Yamamoto T](#), ... Correlation between colon perfusion and postoperative fecal output through a transanal drainage tube during laparoscopic low anterior resection. *Cancers* 14(9):2328, 2022. (査読有り)
 - 11 [Uemoto Y](#), [Taura K*](#), ... Bile Duct Regeneration with an Artificial Bile Duct Made of Gelatin Hydrogel Nonwoven Fabrics. *Tissue Eng Part A* 28:737–748, 2022. (査読有り)
 - 12 [Matsumori T](#), [Uza N*](#), ..., [Taketo M M](#), ..., [Taura K](#), ... Clinical impact of a novel device delivery system in the diagnosis of bile duct lesions: A single-center experience. *J Gastroenterol Hepatol* 37:1360–1366, 2022. (査読有り)
 - 13 [Nagao M](#), [Fukuda A*](#), [Taura K](#), ... Concurrent activation of kras and canonical wnt signaling induces premalignant lesions that progress to extrahepatic biliary cancer in mice. *Cancer Res* 82:1803–1817, 2022. (査読有り)
 - 14 [Kurimoto M](#), [Seo S*](#), ..., [Taura K](#), ... Dissecting aneurysm of the proper hepatic artery after laparoscopic hepatectomy possibly related to the Pringle maneuver: A case report. *Asian J Endosc Surg* 15:633–637, 2022. (査読有り)
 - 15 [Murakami T](#), [Aizawa R*](#), ..., [Taura K](#), ... Efficacy and safety of external-beam radiation therapy for unresectable primary or local recurrent cholangiocarcinoma. *Cancer Diagn Progn* 2:634–640, 2022. (査読有り)
 - 16 [Hori Y](#), [Seo S*](#), ..., [Taura K](#), ... Impact of preoperative CEA uptrend on survival outcomes in patients with colorectal liver metastasis after hepatectomy. *Ann Surg Oncol* 29:6745–6754, 2022. (査読有り)
 - 17 [Hai Nam N](#), [Taura K*](#), ... Increased expressions of programmed death ligand 1 and

- galectin 9 in transplant recipients who achieved tolerance after immunosuppression withdrawal. *Liver Transpl* 28:647–658, 2022. (査読有り)
- 1 8 Seo S*, ..., [Taura K](#), ... Intraoperative indocyanine green imaging facilitates optimal surgical margin for colorectal liver metastasis with preoperatively undetected intrabiliary tumor growth. *J Hepatobiliary Pancreat Sci* 29:e48–e49, 2022. (査読有り)
 - 1 9 Yoh T, Seo S*, ..., [Taura K](#), ... Learning process of laparoscopic liver resection and postoperative outcomes: chronological analysis of single-center 15-years' experience. *Surg Endosc* 36:3398–3406, 2022. (査読有り)
 - 2 0 [Taura K](#)*, ... No impact of donor sex on the recurrence of hepatocellular carcinoma after liver transplantation. *J Hepatobiliary Pancreat Sci* 29:570–584, 2022. (査読有り)
 - 2 1 Sasaki K*, ..., [Taura K](#), ... Nontumor related risk score: A new tool to improve prediction of prognosis after hepatectomy for colorectal liver metastases. *Surgery* 171:1580–1587, 2022. (査読有り)
 - 2 2 Okamoto T*, ... , [Taura K](#), ... Progress in living donor liver transplantation for biliary atresia and challenges faced: A thirty-year single institutional experience. *J Pediatr Surg* 57:649–655, 2022. (査読有り)
 - 2 3 Nishio T, ..., [Taura K](#), ..., Kisseleva T*. The role of mesothelin in activation of portal fibroblasts in cholestatic liver injury. *Biology* 11(11):1589, 2022. (査読有り)
 - 2 4 Makino K, Ishii T*, ..., [Taura K](#), ... The usefulness of preoperative bile cultures for hepatectomy with biliary reconstruction. *Heliyon* 8:e12226, 2022. (査読有り)
 - 2 5 Uemoto Y, [Taura K](#)*, ... Utility of serum autotaxin levels for predicting post hepatectomy liver failure in hepatocellular carcinoma. *J Hepatobiliary Pancreat Sci* Nov 21. doi: 10.1002/jhbp.1278, 2022. Online ahead of print. (査読有り)
 - 2 6 Bell R, ..., [Taura K](#), Dasari B V M*. Volume and flow modulation strategies to mitigate post-hepatectomy liver failure. *Front Oncol* 12:1021018, 2022. (査読有り)
 - 2 7 Toda R, Seo S*, ..., [Iguchi K](#), ..., [Taura K](#), Clinically relevant model of oxaliplatin-induced sinusoidal obstruction syndrome. *Hepatol Res* 53(2):145–159, 2023. (査読有り)
 - 2 8 Aoyama R, Tsunoda S*, ..., [Tanaka E](#), ... Comparison of minimally invasive surgery with open surgery for remnant gastric cancer: A multi-institutional cohort study. *Ann Surg Oncol* Feb 18. doi: 10.1245/s10434-023-13232-w, 2023. Online ahead of print. (査読有り)
 - 2 9 Kimura Y, Koyama Y*, [Taura K](#), ... Characterization and role of collagen gene expressing hepatic cells following partial hepatectomy in mice. *Hepatology* 77:443–455, 2023. (査読有り)
 - 3 0 Kusakabe J, [Taura K](#)*, ... Association of early bifurcation of hepatic artery with arterial injury in right-sided living-donor hepatectomy: retrospective analysis of 500 cases. *Ann Surg* 277:e353–e358, 2023. (査読有り)
 - 3 1 Matsumori T, Uza N*, ..., [Taura K](#), ... Innovative method for the diagnosis of bile duct lesions using a novel tapered-tip sheath system to facilitate biliary biopsies. *Gastrointest Endosc* S0016-5107(23)00244-4, 2023. (査読有り)
 - 3 2 Morino K, Seo S*, ..., [Taura K](#), ... Impact of the intermittent Pringle maneuver for predicting post-hepatectomy liver failure: A cohort study of 597 consecutive patients. *World J Surg* 47:1058–1067, 2023. (査読有り)
 - 3 3 Nishio T, Ito T*, ..., [Taura K](#), ... Current status of liver transplantation for non-B non-C liver cirrhosis and hepatocellular carcinoma. *Ann Gastroenterol Surg* 7:42–52, 2023. (査読有り)
 - 3 4 Yao S, [Taura K](#)*, ... Nonsuperiority of technetium-99m-galactosyl human serum albumin scintigraphy over conventional volumetry for assessing the future liver remnant in

patients undergoing hepatectomy after portal vein embolization. *Surgery* 173:435-441, 2023. (査読有り)

(Letters)

- 1 Taura K*, Terajima H, ... Letter to the Editor for “Surgical implications of the confluence patterns of the left intrahepatic bile ducts in right hepatectomy for perihilar cholangiocarcinoma” -The position of the confluence, not the pattern of the confluence, matters. *J Hepatobiliary Pancreat Sci* 30:e5-e6, 2023. (査読有り)

(症例報告)

- 1 Ideyama R, Okuchi Y*, ... Strangulated small bowel obstruction caused by isolated obturator nerve and pelvic vessels after pelvic lymphadenectomy in gynecologic surgery: two case reports. *Surg Case Rep* 8(1):104, 2022. (査読有り)
- 2 Hanada K, Tsunoda S*, ..., Tanaka E, ... A case of long-term survival treated with three metastasectomies and two subsequent adjuvant nivolumab therapies for recurrent malignant melanoma of the esophagus. *Surg Case Rep* 8(1):206, 2022. (査読有り)
- 3 Yao S*, ..., Taura K, ... Acute coronary syndrome after liver transplantation in a young primary biliary cholangitis recipient with dyslipidemia: a case report. *Surg Case Rep* 8:113, 2022. (査読有り)
- 4 Nishikawa Y, ..., Terajima H*. Pancreaticoduodenectomy for severe duodenal stenosis and biliary-duodenal fistula induced by groove pancreatitis due to repetitive duodenal ulcers: a pediatric case report. *J Pediatr Surg Case Rep* 91:102584, 2023. (査読有り)

【研究】

①主催学会、研究会、セミナー（コロナ禍で活動制限あり）

- ★第20回消化器センターK2-Net：2022/9/1（木）（web形式）
- ★手術室看護師のためのTeam Building Seminar：2022/6/18（土）
- ★第19回北大阪消化器外科合同カンファレンス：2022/6/24（金）

②研究活動内容；文部科学省・厚生労働省・その他団体からの研究助成

- ★腫瘍発生の土壌となる遺伝子発現変化を制御することによる新規大腸癌予防薬の開発（学術研究助成基金助成金 2021-2023年度 若手研究）（奥知慶久）
- ★大腸癌幹細胞を用いた繊維芽細胞増殖因子受容体阻害薬の感受性予測マーカーの開発（学術研究助成基金助成金 2021-2022年度 研究活動スタート支援研究活動スタート支援）（山本健人）
- ★肝虚血再灌流障害とその制御における概日リズムの関与（学術研究助成基金助成金 2021-2023年度 基盤研究C）（寺嶋宏明、宮内智之）
- ★肝細胞癌における癌幹細胞を標的とした新規治療戦略構築に関する研究（学術研究助成基金助成金 2021-2023年度 若手研究）（河合隆之）
- ★プロピオン酸による肝虚血再灌流障害抑制メカニズムの解明（学術研究助成基金助成金 2021-2022年度 研究活動スタート支援）（川添准矢）
- ★肝臓外科領域における食事療法の有効性および腸内環境の変動解析（学術研究助成基金助成金 2020-2023年度 基盤研究(B)）（宮内智之）
- ★NASH 肝癌発生過程を血液と肝臓プロテオームから解き明かす～ブタからヒトへ～（学術研究助成基金助成金 2019-2022年度 基盤研究(C)）（井口公太）
- ★生理的な胆道再建を目指した人工胆管の開発（学術研究助成基金助成金 2020-2022年度 基盤研究(C)）（田浦康二郎）

③共同研究施設

- ☆ 京都大学 肝胆胰移植外科
- ☆ 京都大学 消化管外科
- ☆ 名古屋工業大学 医用生体工学研究室
- ☆ 慶応大学 生化学教室
- ☆ 同志社大学 生命医科学部